



AGING JAPAN Dementia Meet-up / with SoftBank

# 認知症の方と 家族の生活をどう守るか 2018

## 2018 . 4 . 23 月 14:30 開場 15:00 開始

65歳以上の高齢者の認知症患者数の将来推計についてみると、2025年には約700万人と5人に1人に増加すると見込まれています。  
誰もが認知症になる時代、認知症者が増えて少子化のためサポートする人手は減る一方では、経済も疲弊をしていきます。  
物理的にも認知症者の安全は益々危険にさらされている現状を考え、生活を中心にコミュニティで支える仕組みについてテクノロジー・ビジネス・互助共助の視点から考えるイベントです。

会場

**ソフトバンク株式会社 本社 カスタマーブリーフィングセンター**  
東京都港区東新橋1-9-1 東京汐留ビルディング  
大江戸線 汐留駅 0分 JR線 新橋駅 10分  
本社受付ではありません スターバックスがある階になります



費用

**参加無料 30名様**  
**懇親会有 17:30-19:00 / 1名 3,000円**

主催

一般社団法人 **日本次世代型先進高齢社会研究機構** / 特定非営利活動法人 **オレンジアクト**

後援

**ソフトバンク株式会社**

**お申し込みは下記に必要事項をメールでお送り下さい**  
(申込多数の場合は抽選とさせていただきます)

イベント申込方法

SBTMGRP-kaigomeetup@g.softbank.co.jp

事務局へ **お名前・所属・連絡先と懇親会参加可否** をメールで送付下さい

# PROFILE & AGENDA

14:30 開場

15:00 - 15:10

(10分)

## 開会挨拶 - Smart Aging Cityに向けて -



AGING 2.0 Tokyo chapter ambassador  
阿久津 靖子

デザインリサーチファームとしてMT ヘルスケアデザイン研究所を創業。  
医療介護領域でのプロダクト・サービス・UXデザインのデザイン開発から事業、インキュベーションプロモーションまで行う。

15:10 - 15:25

(15分)

## 行方不明者を見守るICTサービスのご紹介



ソフトバンク株式会社 ICTイノベーション本部  
葭葉 敦史

ソフトバンクでは、行方不明者の捜索を支援するモバイル活用ソリューションの展開を企画しており、その概要をご紹介します。

15:25 - 15:55

(30分)

## 認知症者のための生活費確保の資産保全



(一社) ケアソリューション理事/ITヘルスケア学会監事  
専門職後見人税理士 稲田 清英

税理士。医師や施設、介護者と連携した家庭資産運用の支援や各後見制度の利用・申し立て、成年後見人制度の利用・未成年後見人の利用・生前契約、任意後見契約の締結と申し立てを行っている。

休憩：15分

16:10 - 16:40

(30分)

## みんなで取り組む認知症 - 認知症と共に暮らす -



NPO法人オレンジアクト理事長/ITヘルスケア学会副代表  
たかせクリニック理事長 高瀬 義昌

医師。信州大学卒業。昭和大学客員教授。東京都大田区にて約400名の認知症の方の訪問診療を行っている。在宅認知症診療のスペシャリストとして高齢者の医薬品適正使用事業など、厚生労働省、東京都の委員も数多く務める。

16:40 - 17:20

(40分)

## パネルディスカッション ～認知症の方と家族の生活をどう守るか～



高瀬 義昌 (医師/医学博士) Yoshimasa Takase  
稲田 清英 (税理士) Kiyohide Inada  
次田 芳尚 (介護支援専門員) Yoshinao Tsukuda

合同会社かいご支援サービス 代表/株式会社ビーシステム 顧問  
介護事業とITシステムに精通。介護支援専門員の視点から認知症領域でのIT活用方法の知見を有し、講演等で多数情報発信している。

【ゲストパネリスト】  
次田 芳尚

<司会>

阿久津 靖子 (AGING 2.0) Yasuko Akutsu

終了・移動：10分

17:30 - 19:00



TVにも取り上げられた社食で 懇親会

3,000円/1名 飲み放題含む (予定)

Agendaは当日の状況により予告なく変更の可能性がございます

イベント申込方法

SBTMGRP-kaigomeetup@g.softbank.co.jp

事務局へ お名前・所属・連絡先と  
懇親会参加可否 をメールで送付下さい